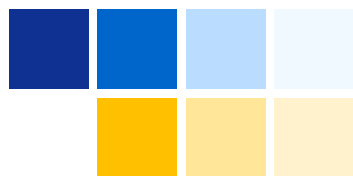


第2回 NIKKEI Super Active Ageing Society Conference

— 超高齢化社会の課題を解決するための国際会議 —



NIKKEI

FT
FINANCIAL
TIMES

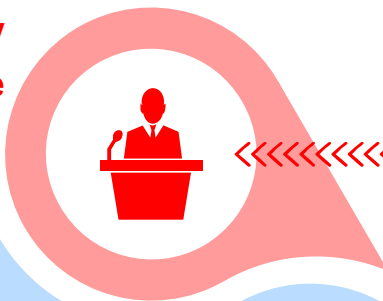
高齢化は、今後半世紀を通じ全世界で急速に進みます。人類が直面する高齢化という社会の劇的な変化に対応するためのアイデアを打ち出し、共有することが求められています。とりわけ超高齢化社会では、健康寿命、職業寿命、資産寿命の延伸をめざす基盤の構築が求められ、その実現にはマルチセクターが連携したアプローチが必要となります。本会議では、未来に起こりうる課題に焦点を当て、よりアクティブな高齢化社会に向けて世界の産学官の第一人者が議論します。議論や提言の内容は、日経グループの媒体を活用し、国内はもとよりアジアや世界に向けて発信いたします。

本カンファレンスの特長

- ⌘ 超高齢化の課題を俯瞰的に理解できるように特定の分野にフォーカスするのではなく、網羅性を重視する。
- ⌘ アカデミックな視点だけでなく、ビジネスや政策的な視点も盛り込み議論。参加者も産官学から広く募り、関連する幅広い業種が議論に参加する。
- ⌘ 国際会議として、海外からも登壇者を招聘。告知や発信もグローバルにおこなう。

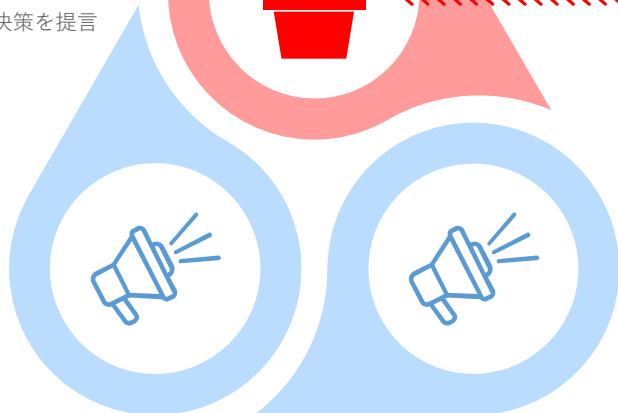
Super Active Ageing Society Conference

未来に起こりうる課題に焦点を当てて議論し、それらに対する解決策を提言



国内広報

日本経済新聞本紙でビジネスパーソン、産官学のオピニオンリーダーに向け発信



海外広報

日本経済新聞グループメディアを通し、世界に向け発信

ステアリング コミッティ



産官学の有識者からなるステアリングコミッティを設置
会議のテーマや内容について事前の段階から検討を進め、より質の高い議論ができるような枠組みを用意

急速に進む高齢化により、人類が経験をしたことがない高齢化社会に突入します。
課題解決のためには、**社会全体で高齢者の自立を支える新たなモデルの構築が必要**です。

現状

急速に進む 高齢化がもたらす課題

課題

- ・ 社会保障費の増加
- ・ 要介護者の急増と介護の担い手の負担の増加
- ・ 労働力人口の減少
- ・ 所得・資産格差の拡大

今後

高齢者が自立し、社会を支える新たなモデルの構築

解決策

- ・ 質の高い医療、予防で健康寿命を延ばす
- ・ 職業寿命を延ばし、現役シニアの社会参加機会を確保
- ・ 公的年金を補完する自助努力としての資産運用の実践



課題解決のために
社会全体での連携が重要



企業も新たなビジネスチャンス獲得のため、またCSR的観点として超高齢化社会への対応が必要です。ステークホルダーに対して**超高齢化社会に対する企業戦略の説明と発信**が求められます。

関連市場とステークホルダー

医療・医薬

- 医療サービス、調剤
- 医療機器、診断機器
- 治療薬、予防薬

IT・デジタル

- 介護・福祉ロボット
- データ、AIなどを活用したヘルスケアサービス
- 企業の生産性向上と行政の効率化

介護・シニアケア

- 介護サービス、福祉サービス、家事支援
- 高齢者向け住宅・家具、グループホーム

金融・保険

- 資産運用・管理、信託
- 保険サービス

生活関連

- 食品（高齢者向け食材提供）、飲食店
- 被服（ファッション、機能性衣料）
- 交通、運輸、自動車
- 娯楽（旅行サービスなど）

人材

- 人材紹介、人材派遣
- 教育研修、生涯教育
- 高齢者人材活用

社会資本

(ソーシャル・キャピタル)

- NGO
- 地域社会
- 高齢者自身

“超高齢化”という社会課題に対し、産官学のエキスパートが世界の高齢化政策の指針となりうる議論と提言を展開。会議の様様を日経およびグループメディアでグローバルに発信いたします。

「国際会議」の概要

東京都内において「NIKKEI Super Active Ageing Society Conference」を開催

- 名称 第2回 NIKKEI Super Active Ageing Society Conference
- 時期 2020年11月16日（月）
- 会場 イイノホール（本会議）
イイノカンファレンスセンター（分科会、昼食会、レセプション）
- 対象 医療・福祉、金融・保険、情報通信、製造、サービス業界関係者
政府関係者、自治体関係者
医学、公衆衛生、経済学、社会学分野などの研究者
NGO、NPOなどの実務家・社会イノベーター
投資家、マーケット関係者
- 定員 500名 ※日本経済新聞等で告知・集客
- 主催 日本経済新聞社
- メディアパートナー フィナンシャル・タイムズ
- 後援・協力（予定） 経済産業省、厚生労働省、金融庁、WHO西太平洋地域事務局、
日本医療政策機構 他



※ 前回会議の様様

「国内外情報発信」の概要

カンファレンスの内容を日経グループメディアにて発信

日本経済新聞	<ul style="list-style-type: none"> ・発行部数 約230万部 ・電子版有料会員 約70万人 ・産官学のオピニオンリーダーが日常的に接触 ・国内のビジネスパーソンへの必携紙
Nikkei Asian Review	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント：16,000部／WEB：1,650,000UV ・アジアにフォーカスしたニュースを発信 ・アジア全域のC-suite、エグゼクティブからの支持を集める
Financial Times	<ul style="list-style-type: none"> ・1888年創刊 ・約100万の有料読者の36%がCEOやCFOなどの「Cレベル」 ・政府関係者などパブリックセクターの読者が18%を占める ・ヘルス分野の報道にも定評

日本経済新聞

NIKKEI
ASIAN REVIEW

FINANCIAL TIMES

時間	Lap (分)	プログラム	内容/テーマ	講師
09:00-09:05	5	開会の辞		
09:05-09:15	10	開会挨拶	政界・後援団体より	
09:15-09:45	30	基調講演 ①	「総論」	
9:45-10:05	20	テーマ講演 ①	「健康」	
10:05-10:55	50	パネルセッション	「健康」	パネリスト 3名、モデレーター 1名 ※テーマ講演者もモデレーターもしくはパネリストで登壇
10:55-11:10	(15)	休憩		
11:10-11:30	20	基調講演 ②	「ビジネス」	協賛企業代表者
11:30-11:50	20	テーマ講演 ②	「金融」	
11:50-12:40	50	パネルセッション	「金融」	パネリスト 3名、モデレーター 1名 ※テーマ講演者もモデレーターもしくはパネリストで登壇
12:40-14:00	(80)	ランチブレイク ※別途、VIP昼食会(招待者のみ)を実施		

※ 上記タイムテーブル・プログラムは、変更になる可能性があります。



時間	Lap (分)	プログラム	内容/テーマ	講師
12:40-14:00	(80)	ランチブレイク ※別途、VIP昼食会(招待者のみ)を実施		
14:00-14:20	20	基調講演 ③	「ビジネス」	協賛企業代表者
14:20-14:40	20	テーマ講演③	「社会」	
14:40-15:30	50	パネルセッション	「社会」	パネリスト 3名、モデレーター 1名 ※テーマ講演者もモデレーターもしくはパネリストで登壇
15:30-15:45	(15)	休憩		
15:45-16:05	20	基調講演 ④	「ビジネス」	協賛企業代表者
16:05-16:25	20	特別講演	「総論」	
16:25-17:25	60	総括セッション	「総括」	パネリスト 4名、モデレーター 1名 ※特別講演登壇者もモデレーターもしくはパネリストで登壇
17:25-17:30	5	閉会挨拶		
17:30-19:00	90	レセプション		

※ 上記タイムテーブル・プログラムは、変更になる可能性があります。



産官学の有識者から構成されるステアリングコミッティは、
事前に本会議の基本方針やビジョン、ならびにアジェンダを策定し、
会議当日の有意義な議論の実現に寄与します。

「ステアリングコミッティ」の概要

- 目的 有識者の知見を活用し、本会議の議論の質を高め、より有効な解決策を打ち出せるよう事前に調整や意思決定を行なう
- 役割 会議の基本方針、方向性、ビジョンの策定、ならびに会議当日のアジェンダ、プログラム、スピーカーの選定
- 構成人数 全体で15名程度
(企業関係者も含む)
- 専門テーマ 人口問題、社会学、経済、金融、医療サービス、テクノロジー、高齢者政策、公衆衛生、介護、市民社会、関連産業等
- 座長 清家 篤氏
(日本私立学校振興・共済事業団理事長、慶應義塾学事顧問)
- メンバー 次頁以降参照
- 開催頻度 2020年11月の本会議までに3回の実施を予定
(WEB・ビデオ会議も含む)



※画像はイメージです

アドバイザー

最高顧問



武見 敬三

参議院議員（自民党・参院政策審議会長）

最高顧問



塩崎 恭久

衆議院議員
（自民党・政治制度改革実行本部長）
元厚生労働大臣

顧問



黒川 清

世界認知症協議会
（WDC：World Dementia Council）メンバー
政策研究大学院大学名誉教授
東京大学名誉教授

ステアリングコミッティ 座長・事務局長

座長



清家 篤

日本私立学校振興・共済事業団 理事長

事務局長



中谷 比呂樹

慶應義塾大学グローバルリサーチ
インスティテュート（KGRI）
特任教授

ステアリングコミッティメンバー



佐原 康之

厚生労働省 総括審議官 (国際担当)



John Pigott

Scientia Professor, Director, ARC Centre of Excellence in Population Ageing Research (CEPAR),
Director, Australian Institute for Population Ageing Research (AIPAR)



西川 和見

経済産業省 ヘルスケア産業課 課長



駒村 康平

慶應義塾大学 経済学部 教授
ファイナンシャル・ジェロントロジー
研究センター長



清水 肇子

公益財団法人さわやか福祉財団 理事長



Linda P. Fried

Dean of Columbia's Mailman School of Public Health



中村 秀一

一般社団法人 医療介護福祉フォーラム
理事長



Tan Chorh Chuan

Professor of Medicine at the National University of Singapore
Senior Consultant at the Division of Nephrology,
Department of Medicine,
National University Hospital (NUH)



澤 芳樹

大阪大学大学院 医学研究科
心臓血管外科 教授



横倉 義武

日本医師会 会長

日本経済新聞本紙、およびグループ媒体を使って、
本事業を広く読者に告知し、**国内外の質の高い聴講者を集客します。**

メディア告知の概要

- 展開媒体
 - ・ 日本経済新聞（朝刊・全国230万部） 5 d円/枚×複数回
 - ・ 日経電子版 日経ID会員向けメール
 - ・ Nikkei Asian Review プリント（フルページ）×複数回
／サイト内告知バナー掲出
- 展開時期 2020年9月～10月（予定）

日本経済新聞

日本経済新聞 電子版

NIKKEI ASIAN REVIEW

日本経済新聞

日本経済新聞 電子版

NIKKEI ASIAN REVIEW

日本経済新聞本紙にて会議の採録を掲載するほか、
Nikkei Asian Review・Financial Times 等のグループ媒体も活用し、
本会議のメディア露出を展開します。

日本経済新聞

NIKKEI CHANNEL

NIKKEI
ASIAN REVIEW

FINANCIAL TIMES

メディア採録の概要

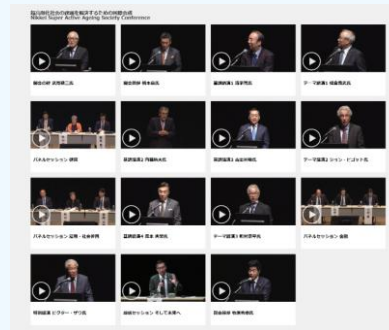
- 展開媒体 日本経済新聞／NIKEI CHANNEL／Nikkei Asian Review／Financial Times
- 掲載内容 下記の通り
- 展開時期 2020年12月～（予定）

日本経済新聞



- 媒体/仕様 日本経済新聞（朝刊・全国）編集特集 4ページ（想定）
- 掲載日 会議の約1ヵ月後
- 掲載内容 講演内容の採録記事
※編集特集につき、掲載内容の事前確認、校正は不可
- 広告枠
 - ・協賛社名ロゴを掲載
 - ・純広告は協賛カテゴリで変動

NIKKEI CHANNEL



- 媒体/仕様 日経チャンネル 動画配信
- 配信開始日 会議の2～3週間後
- 掲載内容 講演動画アーカイブ配信

NIKKEI ASIAN REVIEW



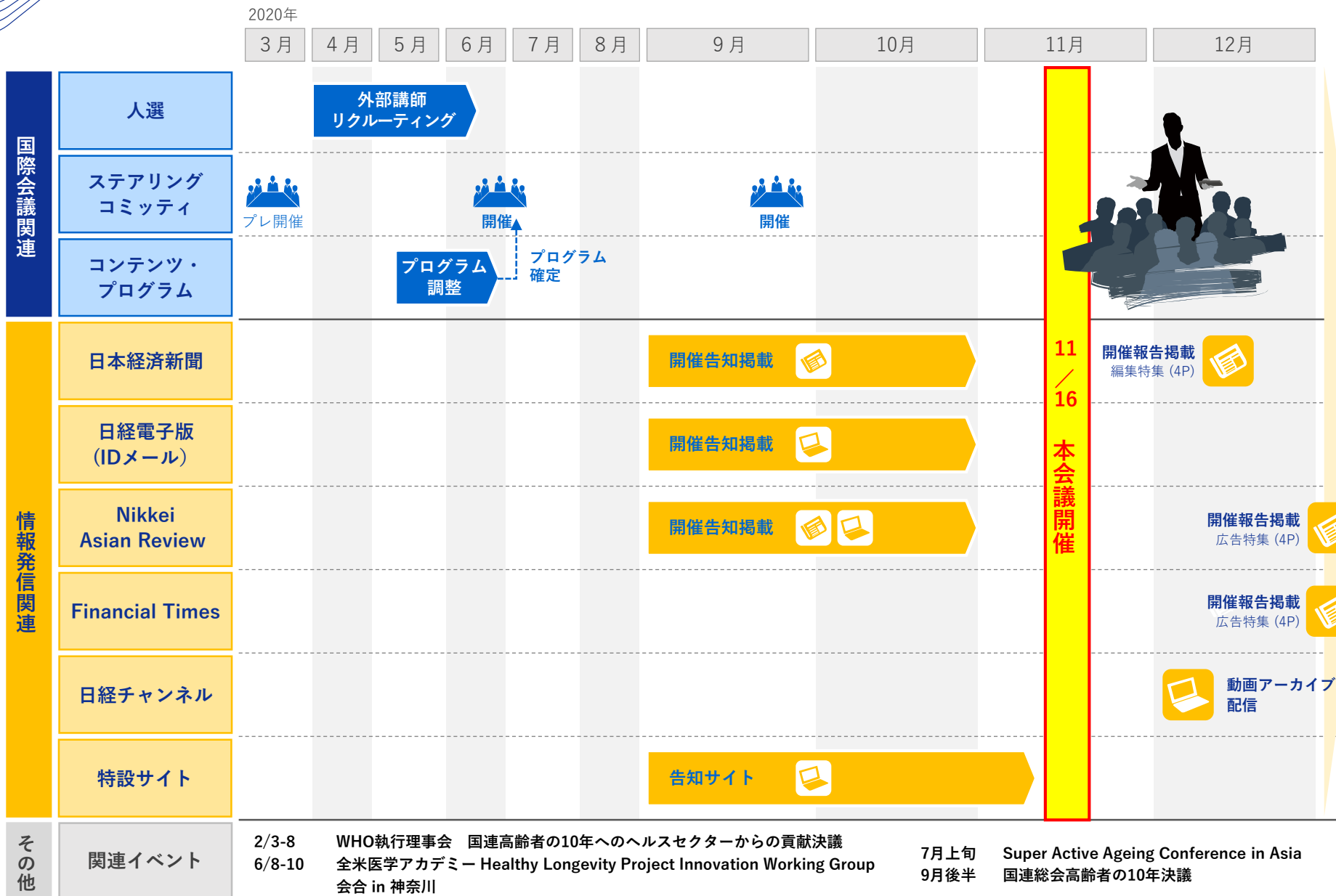
- 媒体/仕様 Nikkei Asian Review プリント版 広告特集 4ページ（想定）
- 掲載日 会議の6～8週間後
- 掲載内容 講演内容の英文採録記事
- 広告枠
 - ・協賛社名ロゴを掲載
 - ・純広告は協賛カテゴリで変動

FINANCIAL TIMES



- 媒体/仕様 Financial Times プリント版 広告特集 1ページ（想定）
- 掲載日 会議の6～8週間後
- 掲載内容 講演内容サマリーの英文記事
- 広告枠
 - ・協賛社名ロゴを掲載

実施スケジュール



第3回に向けた議論をスタート

11 / 16
本会議開催



イイノホール & カンファレンスセンター

霞ヶ関駅直結、5駅12路線と
さまざまなアクセスに対応。

同一フロアに配置された500席の規模のホールと
分科会・懇親会の実施が可能な
カンファレンスセンターを連動し、スムーズな進行を実現。

住所：東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング4F～6F
電話：03-35060-3251（代表）
アクセス：東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口直結



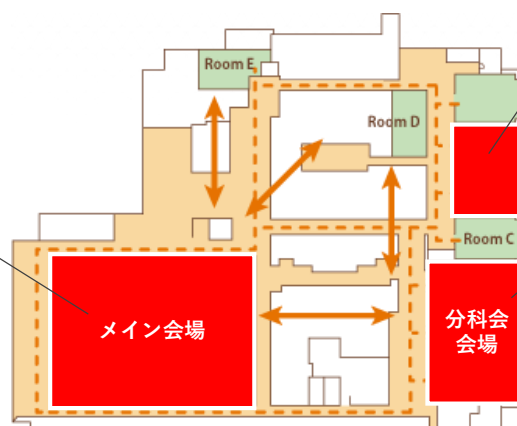
メインロビー



ホールホワイエ



イイノホール（メイン会場）

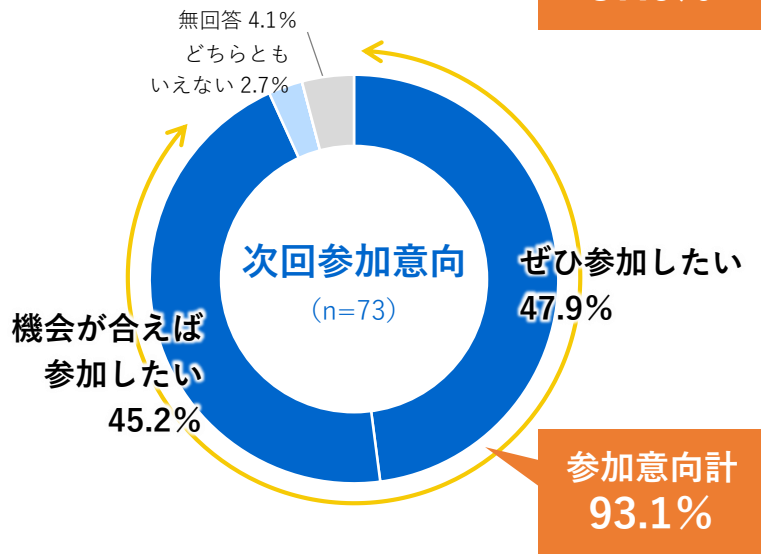
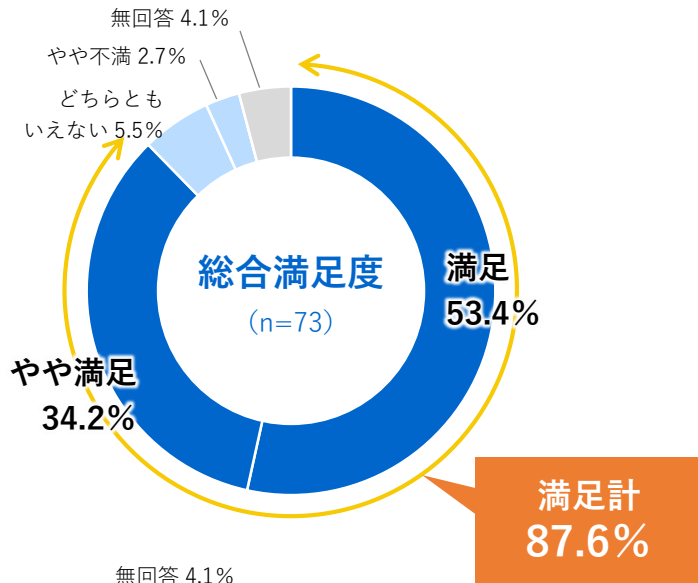


昼食会・レセプション会場

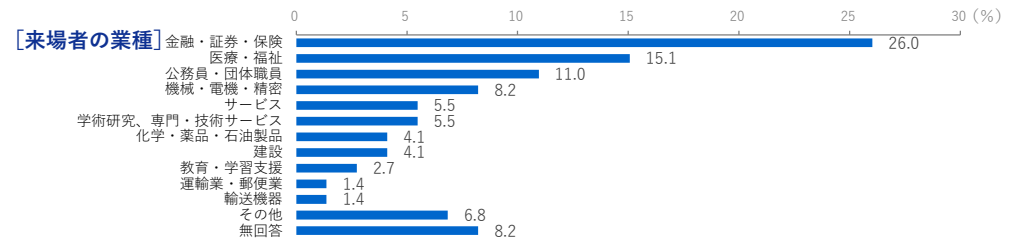
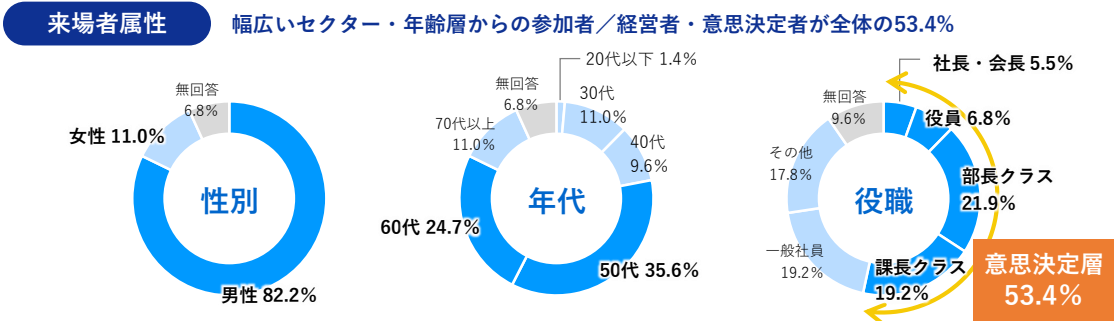
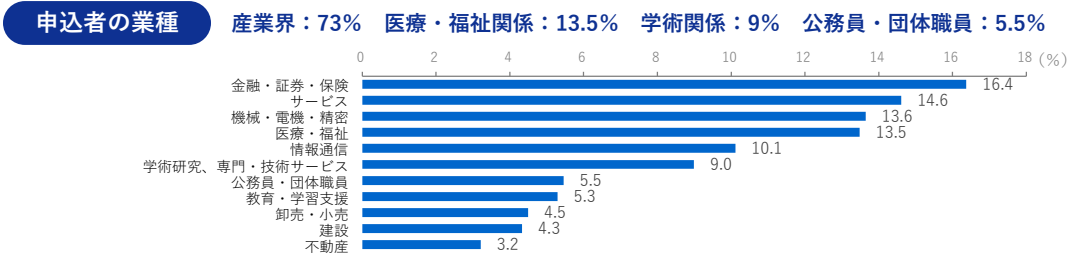


分科会会場

第1回の会議への総合満足度は87.6%、次回参加意向も93.1%と高い評価を得た国際会議となった。
幅広いセクター・年齢層からの参加があり、5割超がビジネス上の強い影響力をもつ意思決定層であった。



申込者：745名 当選者：445名
来場者：324名（プレス・関係者含む） … [内訳] ・一般申込…165
・関係者・招待申込…100名
・登壇者・随行者・VIPゲスト…49名
・プレス…10名



パネルセッション：健康

Panel Session : Health



基調講演

活力ある超高齢社会に向けて

Keynote Speech (1)
Towards Super Active Ageing Society



特別講演

健康寿命における
世界的なロードマップ

Special Lecture
Global Roadmap for Healthy Longevity



朝食会

Breakfast



昼食会

Luncheon



レセプション

Reception

